

平成23年度 会計別決算の概要

(単位：千円)

区 分	決 算 額		歳入歳出差引 ①－②
	①歳入額	②歳出額	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	6,043	3,850	2,193
国東市立国東自動車学校特別会計	66,866	58,300	8,566
国民健康保険事業特別会計	4,499,986	4,427,651	72,335
介護保険事業特別会計（事業勘定）	3,623,191	3,595,621	27,570
介護保険事業特別会計（サービス勘定）	329,768	316,186	13,582
後期高齢者医療事業特別会計	418,804	417,485	1,319
簡易水道事業特別会計	609,463	580,327	29,136
公共下水道事業特別会計	485,838	473,728	12,110
特定環境保全公共下水道事業特別会計	681,415	666,218	15,197
農業集落排水事業特別会計	42,169	41,387	782
浄化槽設置事業特別会計	2,235	2,233	2
特別会計合計	10,765,778	10,582,986	182,792

◎公営企業関係

区 分		決 算 額		歳入歳出差引 ①－②
		①歳入額	②歳出額	
工業用水道事業特別会計	収益的	34,812	28,676	6,136
	資本的	0	0	0
市民病院事業特別会計	収益的	3,261,966	3,403,252	(※1) △141,286
	資本的	3,776,655	3,863,212	△86,557

(※1) △141,286千円には、病院改築や医療機器等の購入に伴う消費税等217,525千円が含まれるので、この臨時的な費用を除けば、76,239千円の黒字が発生したことになります。

国東市の財政の健全性を示す5つの指標

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」の規定により、平成23年度決算に基づく4つの健全化判断比率および公営企業の資金不足比率を算出しました。国東市はいずれの指標も基準を下回り、健全性が保たれていることを示しています。今後も健全な財政運営に努めていきます。

◎4つの健全化判断比率

	平成22年度 決算による数値	平成23年度 決算による数値	早期健全化 基 準	財政再生 基 準	説 明
実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	12.89%	20%	赤字の程度がわかります 普通会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	17.89%	30%	全会計を合算した赤字の程度がわかります 全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	15.8%	14.1%	25%	35%	一年間で払う借金返済額が増えすぎているかわかります 普通会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率
将来負担比率	67.6%	52.1%	350%		将来にわたる借金が増えすぎているかわかります 普通会計が将来負担すべき実質的な債務（公営事業・第三セクター等を含む）の標準財政規模に対する比率

※「—」は、実質赤字額及び連結実質赤字額がないことを意味します。

※普通会計とは、一般会計及び自動車学校特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計の総称です。

※標準財政規模とは、標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源（市税等）の規模を言います。

◎公営企業の資金不足比率

資金不足を生じている会計はありません。